SONY

4-125-572-**02** (1)

データ
プロジェクター

取扱説明書
ネットワーク／ USB ファイルビューアー編

VPL-MX25
VPL-DX15

お買い上げいただきありがとうございます。

- 本機を使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 各国、もしくは各地域により、無線を規制する法律が異なりますので、必ず、お客様のお住まいの地域向けモデルをご使用ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Excel、Windows Media は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- PJLink は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。
- AMX は、AMX Corporation の商標です。

その他、記載されている各社名及び各製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

目次

はじめに

準備する

ネットワーク機能を利用する

USB ファイルビューアー機能を使う

ファイルビューアーの使いかた

その他

本書で説明する機能

この説明書では、下記に記載されている機能について説明します。

ネットワーク機能

ネットワーク経由でプレゼンテーションを行う（Windows Vista® ネットワークプロジェクタ）

・Windows Vista に標準で搭載されている Windows Vista® ネットワークプロジェクタ機能を使い、ネットワーク経由（無線または有線 *）でプレゼンテーションを行うことができます。

＊ VPL-DX15 のみ

・Windows Vista に搭載されている機能を利用するので、専用のソフトウェアをインストールする必要がありません。
・無線（ワイヤレス）に対応しているので、無線で接続すると面倒なケーブルの引き回しが不要となります。

ネットワーク上にあるコンピューターのファイルを直接投影する（ネットワークファイルビューアー）

本機は次の 3 種類のファイルを閲覧することができる簡易型ファイルビューアーを搭載しています。
これらの簡易型ファイルビューアーを使用し、ネットワーク上にあるコンピューターのファイルを閲覧することができます。

－ Microsoft Office ファイル（Power Point/ Excel）
－ フォトファイル
－ ビデオファイル

閲覧できるファイルについて、詳しくは「閲覧できるファイルの種類」（10 ページ）をご覧ください。

プロジェクターからコンピューターを操作する（リモートデスクトップ）

・Windows に搭載のリモートデスクトップ機能に対応しています。
・プロジェクターに USB マウス、USB キーボード（英字配列 101/102）を接続することで、遠隔地にあるコンピューターを直接操作することができます。
(別売の USB マウスと USB キーボード（英字配列 101/102)、USB ハブが必要です。)

ネットワーク経由でファイルをストリーミング投影する（ビデオストリーミング）

・Windows Media エンコーダを搭載したコンピューターからストリーミングされる動画をネットワーク経由（無線または有線 *）で閲覧することができます。

＊ VPL-DX15 のみ

ウェブブラウザを利用してプロジェクターを監視・操作する

・コンピューターからウェブブラウザを利用し、ネットワーク経由（無線または有線 *）でプロジェクターの監視や操作ができます。

＊ VPL-DX15 のみ

・プロジェクターのランプの交換時期やエラー情報などを、あらかじめ設定したアドレスにメールで通知することができます。

USB ファイルビューアー機能

USB メモリー内のファイルを直接投影する（USB ファイルビューアー）

本機は次の 3 種類のファイルを閲覧することができる簡易型ファイルビューアーを搭載しています。
これらの簡易型ファイルビューアーを使用し、本機の USB 端子に接続した USB メモリー内のファイルを、コンピューターを使わずに直接閲覧することができます。

– Microsoft Office ファイル（Power Point/ Excel）
– フォトファイル
– ビデオファイル

閲覧できるファイルについて、詳しくは「閲覧できるファイルの種類」（10 ページ）をご覧ください。

使用上のご注意

・この取扱説明書は、データプロジェクター VPL-MX25 または VPL-DX15 のネットワーク機能および USB ファイルビューアーの操作について説明しています。
・説明中の画面は VPL-DX15 を使用しています。VPL-MX25 では表示されない項目があります。
・それぞれの機能を利用する場合は、事前に機能ごとの注意事項をご確認ください。
・プロジェクターの操作方法については、CD-ROM に収録されている「取扱説明書」をご覧ください。
・コンピューター（Windows）の設定や操作方法は、お使いのコンピューターや OS、販売地域によって異なります。詳しくは、お使いのコンピューターに付属の取扱説明書やオンラインヘルプ、Microsoft のウェブサイトをご覧ください。
・詳細情報の表示など、一部の画面切り替えに時間がかかることがあります。
・電源投入後、すぐにネットワーク機能または USB ファイルビューアーを使用する場合は、使用できる状態になるまでに 1 分ほど時間がかかります。

ネットワーク機能を使う場合

・プロジェクターと接続するために、接続するコンピューターは以下のいずれかのネットワーク機能を有している必要があります。

- 無線ネットワーク（IEEE 802.11a/b/g）*
- 有線ネットワーク（IEEE 802.3 10Base-T/100Base-TX）

* 一部の国と地域で使用できない無線ネットワークがあります。

・802.1x 認証について、本機では認証プロトコルとしてEAP（Extensible Authentication Protocol）を採用し、認証方式はPEAP（MS-CHAP v2）に対応しています。認証サーバー（RADIUS サーバー）は Windows 2003 Server にのみ対応しています。

Windows Vista® ネットワークプロジェクタ機能を使う場合

・Windows Vista® ネットワークプロジェクタ機能を使用するには、接続するコンピューターに Windows Vista® ネットワークプロジェクタ機能が搭載されている必要があります。
Windows Vista® ネットワークプロジェクタ機能が搭載されている主なOS には次のものがあります。
- Windows Vista Home Premium
- Windows Vista Business
- Windows Vista Ultimate

・Windows Vista® ネットワークプロジェクタ機能には次のような制限があります。
- コンピューター上で再生するよりも画面の更新間隔が長いため、動画ファイルなどの動きのある画像の再生には適していません。
- コンピューターの解像度がプロジェクターの解像度を超えると接続できないため、プロジェクターの解像度以下に設定してから実行する必要があります。ただし、Windows Vista Service Pack 1 以降は実行時にプロジェクターの解像度以下に変更することを促すダイアログボックスが表示され、また終了時には自動的に元の解像度に戻るように改良されています。
- Windows Media Center の映像を全画面表示で投写することはできません。
- コンピューターでの表示色が16 ビットより大きい場合、プロジェクターでは自動的に16 ビットに変更して投影します。
- Windows Vista® ネットワークプロジェクタ機能を利用した投影画像は、壁紙が単色に変更されます。
- Windows Vista ネットワークプロジェクタ機能を使って音声を再生することはできません。
- スクリーンセーバー起動時などに II（一時停止表示）が表示されることがあります。この場合はスクリーンセーバーを解除すると、元の画面に戻ります。
他の操作中でも II が表示されることがあります。II がどうのようなときに表示されるのか、また、解除するにはどうしらたよいかなど、詳しくはお使いのコンピューターの製造元にお問い合わせください。
- ウィルス対策ソフトの設定によって使用できない場合があります。この場合は、Windows のサービス

を許可する設定に変更することで使用できることがあります。
– （VPL-DX15のみ）2台以上のコンピューターから無線と有線を使って同時に接続すると、有線接続が優先されるため、無線で接続したコンピューターからはIPアドレスで指定したネットワークプロジェクタ機能を使用することができません。

ネットワークファイルビューアー機能を使う場合

- ネットワークファイルビューアー機能を使用するには、接続するコンピューターがネットワークファイル共有機能に対応している必要があります。ネットワークファイル共有機能に対応している主なOSには次のものがあります。
  – Windows 2000 Professional
  – Windows XP Home
  – Windows XP Professional
  – Windows Vista Home Premium
  – Windows Vista Business
  – Windows Vista Ultimate
- Windowsドメインはサポートしていません。
- フォルダー名（共有名）には必ず「半角英数字」をご使用ください。それ以外の文字を使用すると、プロジェクター側でフォルダー名（共有名）を入力することができません。
- ファイルリストに表示されるファイル名やフォルダー名には制限があります。詳しくは「ファイルリスト表示におけるファイル名やフォルダー名の制限」（12ページ）をご覧ください。
- 閲覧できるファイルの種類には制限があります。詳しくは「閲覧できるファイルの種類」（10ページ）をご覧ください。

リモートデスクトップ機能を使う場合

- リモートデスクトップ機能を使用するには、接続するコンピューターがリモートデスクトップ機能に対応している必要があります。リモートデスクトップ機能に対応している主なOSには次のものがあります。
  – Windows XP Professional
  – Windows Vista Business
  – Windows Vista Ultimate
- リモートデスクトップ機能を使うには、USBマウス（別売）、USBキーボード（英字配列101/102、別売）、USBハブ（別売）が必要です。事前にご用意ください。
- USBマウス（別売）やUSBキーボード（英字配列101/102、別売）を直接プロジェクターへ接続しないでください。必ずUSBハブ（別売）を介してプロジェクターに接続してください。
- リモートデスクトップ機能には以下の制限があります。
  – コンピューター上で再生するよりも画面の更新間隔が長いため、動画ファイルなどの動きのある画像の再生には適していません。

– リモートデスクトップ機能を使用中の投影画像は、壁紙が単色に変更されます。
– リモートデスクトップ機能を使って音声を再生することはできません。

ビデオストリーミング機能を使う場合

・ビデオストリーミング機能を使用するには接続するコンピューターにWindows Media エンコーダがインストールされ、ストリーミング配信が可能な環境が必要です。対応しているWindows Media エンコーダのバージョンは次のようになります。
– Windows Media エンコーダ 9 シリーズ
・スピーカーを搭載していないプロジェクターからは音声が出力されません。
・ネットワーク環境によっては再生される動画の品質が悪かったり、再生できなかったりする場合があります。
・再生される動画の品質はコンピューターの性能にも依存します。
・再生される動画の最大解像度は720 × 576 ピクセルです。これよりも大きい場合は表示されません。

ウェブブラウザを利用したプロジェクターの監視・操作機能を使う場合

・ウェブブラウザを利用したプロジェクターの監視・操作機能を使用するには、接続するコンピューターに次のようなインターネットブラウザが搭載されている必要があります。
– Internet Explorer 5.0 以上
・表示可能言語は、英語と日本語のみです。

USB ファイルビューアー機能を使う場合

・ファイルリストに表示されるファイル名やフォルダー名には制限があります。詳しくは「ファイルリスト表示におけるファイル名やフォルダー名の制限」（12 ページ）をご覧ください。
・閲覧できるファイルの種類には制限があります。詳しくは「閲覧できるファイルの種類」（10 ページ）をご覧ください。
・データの損失を防ぐため、データは頻繁にバックアップを取るようにしてください。万一、データが損失した場合、当社は一切その責任を負いかねます。
・USB メモリーによっては、USB メモリーを接続してからファイルリストが表示されまで時間がかかることがあります。
・USB ハブを介してプロジェクターに接続したUSB メモリーは表示できません。
・USB ケーブルを使って、本機のUSB 端子とコンピューターを接続することはできません。

USB メモリーについて

・本機では16GB までのUSB メモリーで動作を確認しています。ただし、す

べての USB メモリーでの動作を保障するものではありません。
・USB メモリーにアクセス中は USB メモリーを抜かないでください。また、USB メモリー内のファイルを開いている場合は、ENTER キーを押してファイルを閉じてから USB メモリーを抜いてください。

閲覧できるファイルの種類

ネットワークファイルビューアーおよび USB ファイルビューアーで閲覧できるファイルは以下のようになります。

・Microsoft Office 97 ／ 2000 ／ XP ／ 2003 の以下のアプリケーションで作成されたファイル
  – PowerPoint（拡張子 .ppt）
  – Excel（拡張子 .xls）
・フォトファイル
  – JPEG ファイル（拡張子 .jpg/.jpeg）
・ビデオファイル
  – WMV ファイル（拡張子 .wmv）*

* Video フォーマットが WMV、Audio フォーマットが WMA の場合のみ。

ご注意

・本機に搭載されているファイルビューアーは簡易型であり、上記のファイルを完全に再生できるものではありません。
・PowerPoint、Excel ファイルで使用できる言語は次のようになります。
  – 1 バイト文字で作成される言語（英語、フランス語など）
    ただし、言語によっては正しく表示されない文字があります。
  – 日本語
・PowerPoint、Excel ファイルで使用できるフォントについては「使用できるフォントについて」（11 ページ）をご覧ください。
・ファイルによっては、ファイルの内容が表示されるまで時間がかかることがあります。
・PowerPoint、Excel ファイルで、ペー

ジ送りに時間がかかることがあります。
・PowerPoint、Excel ファイルに表示される一部の図形や効果は正しく表示されない場合があります。
・1600 × 1200 ピクセルより大きい静止画ファイルは表示されません。
・720 × 576 ピクセルより大きい動画ファイルは表示されません。
・ビットレートが高いビデオファイルでは正しく再生されない場合があります。
・本機でおすすめするビデオファイルには次のようなものがあります。
  – 画面サイズ *：720 × 576（または 720 × 480）ピクセル
  – ビデオビットレート：800 kbps（CBR）
  – フレームレート：15 fps
  – オーディオビットレート：64 kbps（CBR）
  – サンプリンググレート：44.1 kHz（ステレオ）

* 上記以外の画サイズにする場合は、ピクセル数を16の倍数にしてください。
例）320 × 240 ピクセル、640 × 480 ピクセル、640 × 360 ピクセル

使用できるフォントについて

ネットワークファイルビューアーおよび USB ファイルビューアーで使用できるフォントは以下のとおりです。これ以外のフォントが使用されている場合、以下のフォントのいずれかに変換されて表示されます。この場合、一部の文字で正しく表示されない場合があります。

欧文フォント：
- Arial
- Courier
- Tahoma
- Times
- Symbol

日本語フォント：
- MS ゴシック／MS P ゴシック

ファイルリスト表示におけるファイル名やフォルダー名の制限

本機のファイルビューアーで閲覧できるファイル名やフォルダー名には、以下のような制限があります。

・表示可能言語：
- 1バイト文字で作成される言語（英語、フランス語など）
  ただし、言語によっては正しく表示されない文字があります
- 日本語

・最大文字数：半角 255 文字

ネットワーク機能を利用するために

ネットワーク機能を使うためには、プロジェクターとコンピューターを 1 対 1 で接続するか、LAN 経由で接続する必要があります。
接続のしかたは全部で 4 通り（VPL-MX25：③、④ のみ／ VPL-DX15：① ～ ④）あります。使用するネットワーク環境に合わせて接続してください。

はじめに

ネットワーク機能を利用するための注意事項がありますので、事前に「使用上のご注意」－「ネットワーク機能を使う場合」（6 ページ）をご覧ください。

ご注意

・接続するとき、IP アドレスなどネットワーク環境の設定が必要となる場合があります。この場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
・ネットワーク環境が変わった場合は再度設定し直してください。

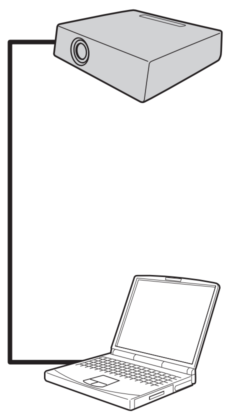
ネットワーク接続の種類

次の 4 通りの接続方法から、使用する環境にあわせて接続方法を選択してください。

ワイヤード（有線）接続（VPL-DX15 のみ）

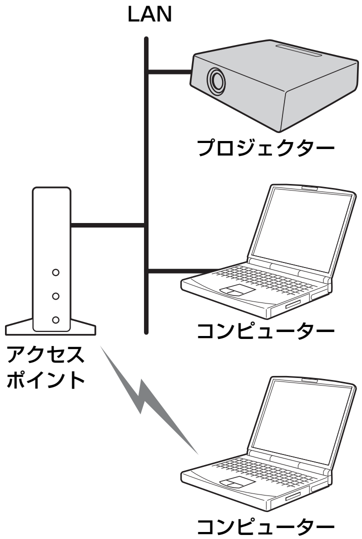
① プロジェクターとコンピューターを 1 対 1 で接続する

接続にはクロスタイプのイーサネットケーブルをご使用ください。



◆詳しい接続のしかたは、「ワイヤード（有線）で接続する」（16 ページ）をご覧ください。

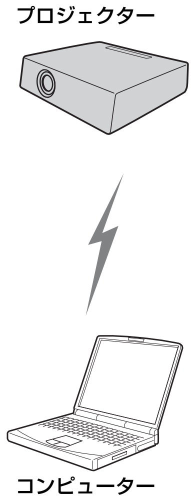
② プロジェクターとコンピューターをLAN 経由で接続する



◆詳しい接続のしかたは、「ワイヤード（有線）で接続する」（16 ページ）をご覧ください。

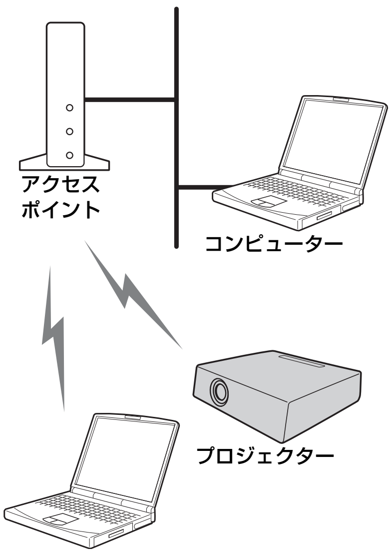
ワイヤレス（無線）接続

③ プロジェクターとコンピューターを1 対 1 で接続する（アドホック／ピアツーピア）



◆詳しい接続のしかたは、「かんたん設定を使って 1 対 1 で接続する（アドホック接続）」（18 ページ）をご覧ください。

④ プロジェクターとコンピューターをLAN 経由で接続する（インフラストラクチャー）



◆詳しい接続のしかたは、「かんたん設定を使ってLAN 経由で接続する（インフラストラクチャー接続）」（20 ページ）をご覧ください。

ご注意

お使いのネットワーク環境によって、セキュリティの設定（データの暗号化、認証）が必要となる場合があります。設定する前に、ネットワーク管理者にご相談することをおすすめします。

かんたん設定について

かんたん設定は、面倒な接続手順をウィザード形式の質問に答える形で1つ1つ進めることができます。
ウィザードでは、一般的に接続が成功しやすい順に接続を試みるので、より簡単に接続することができます。

ご注意

次のような場合かんたん設定では設定できませんので、メニューから設定してください。
< 例 >
– ワイヤレス LAN の 802.1x 認証を設定するとき
– 1 対 1 でワイヤレス接続するときにデータの暗号化を行いたいとき
– プロジェクタ名やパスワードなどの共通設定項目を変更するとき
– ネットワーク設定を初期化するとき

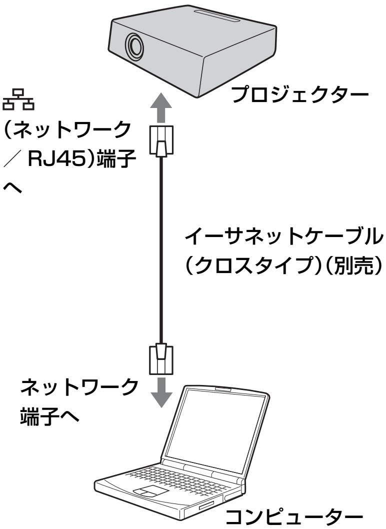
ワイヤード(有線)で接続する

(VPL-DX15 のみ)

ワイヤード (有線) で接続する場合は、プロジェクターとコンピューターを 1 対 1 で接続する場合と、LAN 経由で接続する場合があります。

1 プロジェクターの (ネットワーク／ RJ45) 端子と、コンピューターまたは LAN のネットワーク端子をイーサネットケーブルで接続する。

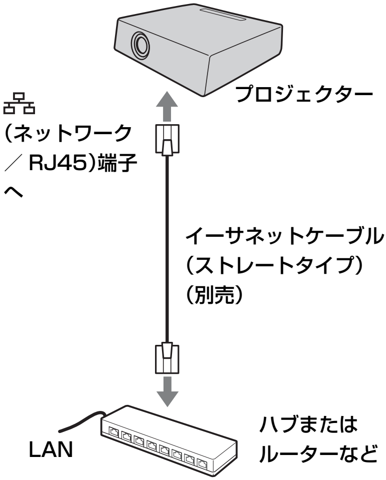
1 対 1 で接続する場合



ご注意

プロジェクターとコンピューターを 1 対 1 で接続する場合は、プロジェクターとコンピューターそれぞれにプライベートな IP アドレス（192.168.0.1 など）を設定する必要があります。

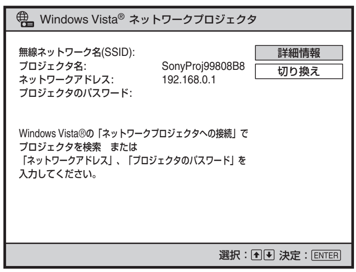
LAN 経由で接続する場合



接続した LAN の DHCP が利用できる状態に設定されていれば、ケーブルを接続すると DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。

2 リモートコマンダーの NETWORK キーを押す。

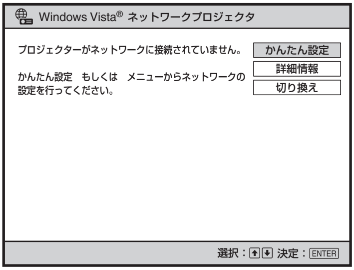
次のような画面が表示されます。



「ネットワークアドレス」に取得した IP アドレスが表示されれば接続は完了です。

自動的にIPアドレスを取得できなかった場合

次のような画面が表示されます。この場合は、かんたん設定ウィザードを使って設定することをおすすめします。



かんたん設定で接続する

「自動的にIPアドレスが取得できなかった場合」で表示された画面から操作を始めます。

はじめに

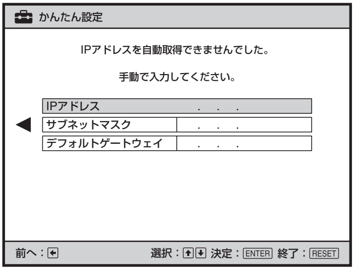
IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの入力が必要になります。事前にネットワーク管理者にご確認ください。

1 **▲/▼キーを使って「かんたん設定」を選択し、ENTERキーを押す。**

「かんたん設定を開始します。」というメッセージの画面が表示されます。

2 **▶キーを押す。**

次のような画面が表示されます。



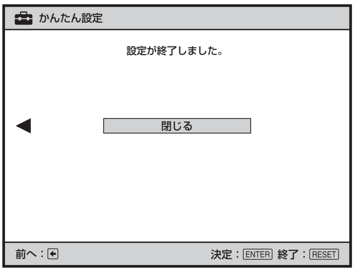
3 **▲/▼キーで「IPアドレス」を選択し、ENTERキーを押す。**

ソフトウェアキーボード画面が表示されます。

4 **表示されたソフトウェアキーボードを使って「IPアドレス」を入力する。同様に「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を入力する。**

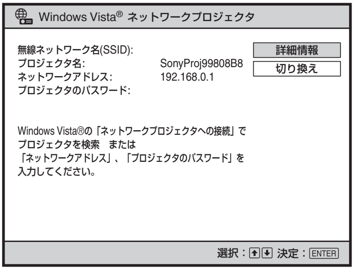
◆ソフトウェアキーボードの使いかたは「ソフトウェアキーボードを使う」(27ページ）をご覧ください。

設定が終了すると次の画面が表示されます。



5 **ENTERキーを押し、かんたん設定画面を閉じる。**

「ネットワークアドレス」に設定したIPアドレスが表示されます。



ご注意

- 入力した IP アドレスが間違っていた場合、ネットワークアドレス（IP アドレス）が表示されていても接続されていません。
- 間違った IP アドレスを設定してしまった場合、かんたん設定では修正できません。その場合は、「ネットワーク設定を初期化する」（25 ページ）で初期化したあと「かんたん設定で接続する」（17 ページ）で設定するか、「メニューからネットワークの設定をする」（22 ページ）でメニューから設定してください。

ワイヤレス（無線）で接続する

コンピューターの準備

お使いになるコンピューターがワイヤレス接続できるように準備してください。詳しくは、お使いのコンピューターに付属の取扱説明書やオンラインヘルプ、Microsoft のウェブサイトをご覧ください。

ご注意

ワイヤード（有線）接続のための接続コードがつながっていると、ワイヤレス（無線）でのかんたん設定ができません。この場合は、接続コードを抜くか、「メニューからネットワークの設定をする」（22 ページ）をご覧になり、メニューから設定してください。

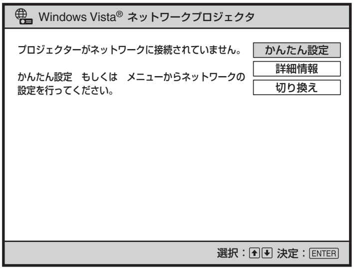
かんたん設定を使って１対１で接続する（アドホック接続）

ご注意

かんたん設定を使って 1 対 1 で接続する場合、データの暗号化を設定することができません。暗号化の設定を行いたいときは「メニューからネットワークの設定をする」（22 ページ）をご覧ください。

1 リモートコマンダーの NETWORK キーを押す。

次のような画面が表示されます。

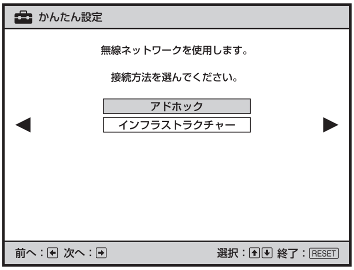


2 **▲/▼ キーを使って「かんたん設定」を選択し、ENTER キーを押す。**

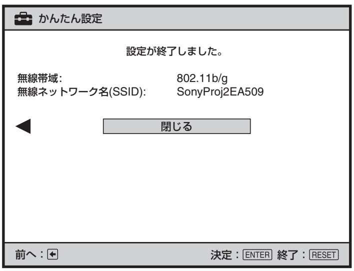
「かんたん設定を開始します。」というメッセージの画面が表示されます。

3 **▶ キーを押す。**

次のような画面が表示されます。

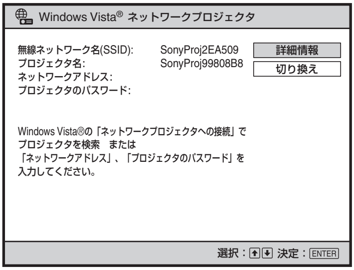


4 **▲/▼ キーで「アドホック」を選択し、▶ キーを押す。**



5 **ENTER キーを押してかんたん設定画面を閉じる。**

「無線ネットワーク名（SSID）」と「プロジェクタ名」が表示されます。

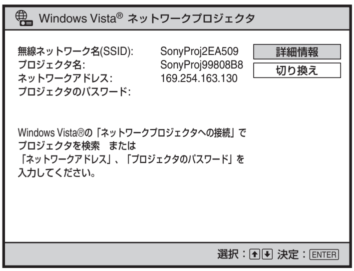


◆「無線ネットワーク名（SSID）」、「プロジェクタ名」、「プロジェクタのパスワード」はメニューから変更することができます。「メニューからネットワークの設定をする」（22 ページ）をご覧ください。

6 **接続するコンピューターを設定する。**

コンピューターの「ワイヤレスネットワーク接続」画面を開き、表示されているネットワーク名の中から、手順 5 の画面に表示されている「無線ネットワーク名（SSID）」と同じ名前のネットワークを選択します。

プロジェクターとコンピューターの接続が開始され、「ネットワークアドレス」に IP アドレスが表示されます。



ご注意

IP アドレスが取得されるまで 1 分程度時間がかかる場合があります。

かんたん設定を使って LAN 経由で接続する（インフラストラクチャー接続）

はじめに

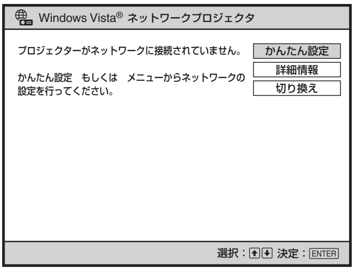
お使いの無線 LAN 環境に応じて SSID やセキュリティーキーなどの入力が必要になります。ネットワーク管理者にご確認ください。

ご注意

かんたん設定では 802.1x 認証などの一部のセキュリティシステムを設定できません。この場合はメニューから行ってください。

1 リモートコマンダーの NETWORK キーを押す。

次のような画面が表示されます。

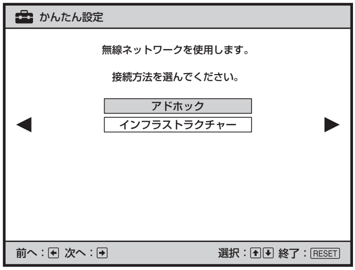


2 ▲/▼ キーを使って「かんたん設定」を選択し、ENTER キーを押す。

「かんたん設定を開始します。」というメッセージの画面が表示されます。

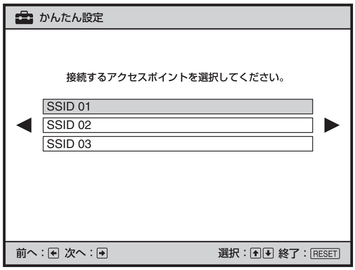
3 ▶ キーを押す。

次のような画面が表示されます。



4 ▲/▼ キーで「インフラストラクチャー」を選択し、▶ キーを押す。

アクセスポイント選択画面が表示されます。

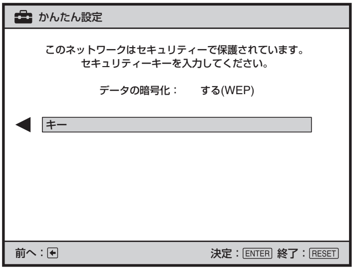


ご注意

アクセスポイントの検索には時間がかかる場合があります。

5 ▲/▼ キーで使用するアクセスポイントを選択し、▶ キーを押す。

アクセスポイントがセキュリティで保護されていると、セキュリティキーの入力画面が表示されます。



セキュリティで保護されていない場合は手順8へ進んでください。

6 **ENTER キーを押す。**

ソフトウェアキーボード画面が表示されます。

7 **表示されたソフトウェアキーボードを使ってセキュリティキーを入力する。**

キーの欄には「＊＊＊＊＊」が表示されます。

◆ソフトウェアキーボードの使いかたは「ソフトウェアキーボードを使う」(27ページ）をご覧ください。

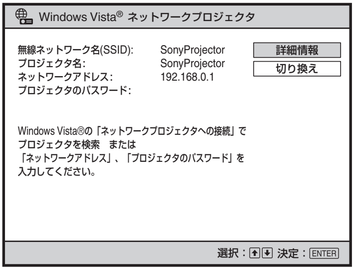
8 **セキュリティキーの入力が終わったら ENTER キーを押す。**

接続が開始され、完了すると「設定が終了しました。」というメッセージが表示されます。



9 **ENTER キーを押してかんたん設定画面を閉じる。**

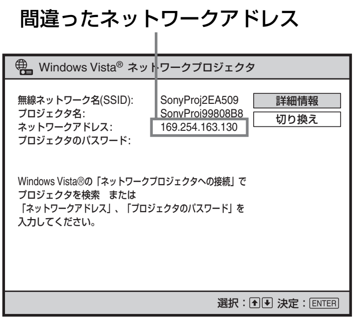
かんたん設定画面が終了し、設定されたIPアドレスなどが表示されます。



インフラストラクチャーの接続はこれで完了です。

ご注意

- IPアドレスを自動的に取得できなかった場合、IPアドレスの入力を求められることがあります。画面の指示に従って入力してください。
- 入力したIPアドレスが間違っていた場合、ネットワークアドレス（IPアドレス）が表示されていても接続されていません。



- 間違ったIPアドレスを設定してしまった場合、かんたん設定では修正できません。その場合は、「ネットワーク設定を初期化する」(25ページ）で初期化したあと「かんたん設定で接続する」(17ページ）で設定するか、「メニューからネットワー

クの設定をする」（22 ページ）でメニューから設定してください。

メニューからネットワークの設定をする

次のような場合かんたん設定では設定できませんので、メニューから設定してください。

< 例 >

– ワイヤレス LAN の 802.1x 認証を設定するとき
– 1 対 1 でワイヤレス接続するときにデータの暗号化を行いたいとき
– プロジェクタ名やパスワードなどの共通設定項目を変更するとき
– ネットワーク設定を初期化するとき

はじめに

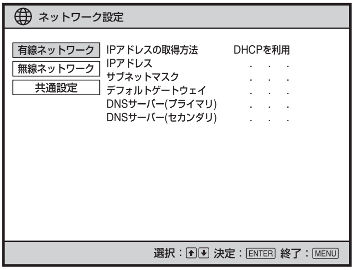
メニューから設定する場合は、IP アドレスやセキュリティーキーなどの入力が必要となります。設定項目を確認の上、あらかじめネットワーク管理者にご確認ください。

有線ネットワーク設定（VPL-DX15 のみ）

1 リモートコマンダーの MENU キーを押し、メニュー画面を表示させる。

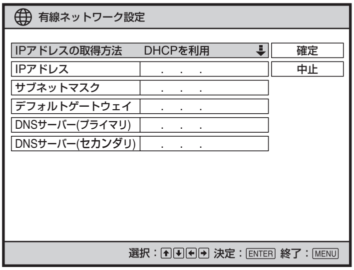
2 ▲/▼/◀/▶ キーでネットワーク設定メニューの「ネットワーク設定へ」項目を選択し、ENTER キーを押す。

ネットワーク設定画面が表示されます。



3 ▲/▼ キーで「有線ネットワーク」を選択し、ENTER キーを押す。

設定画面が表示されます。



4 ▲/▼/◀/▶キーとENTERキーで必要な項目を入力する。

数値などの入力のときはソフトウェアキーボードが表示されます。

◆ソフトウェアキーボードの使いかたは「ソフトウェアキーボードを使う」(27 ページ）をご覧ください。

5 すべての設定が終わったら「確定」を選択し、ENTER キーを押す。

ネットワーク設定画面に戻り、設定した内容が表示されます。

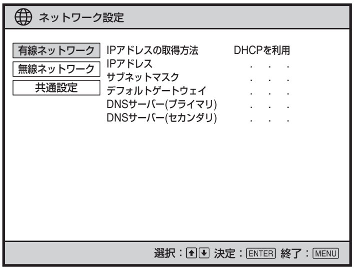
6 MENU キーを押して設定を終了する。

無線ネットワーク設定

1 リモートコマンダーの MENU キーを押し、メニュー画面を表示させる。

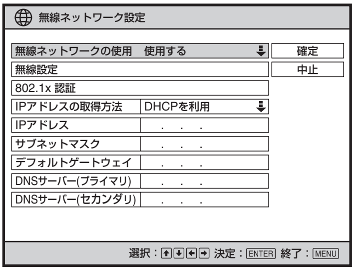
2 ▲/▼/◀/▶ キーでネットワーク設定メニューの「ネットワーク設定へ」項目を選択し、ENTER キーを押す。

ネットワーク設定画面が表示されます。



3 ▲/▼ キーで「無線ネットワーク」を選択し、ENTER キーを押す。

設定画面が表示されます。



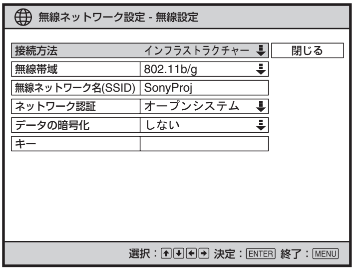
4 ▲/▼/◀/▶キーとENTERキーで必要な項目を入力する。

数値などの入力のときはソフトウェアキーボードが表示されます。

◆ソフトウェアキーボードの使いかたは「ソフトウェアキーボードを使う」(27 ページ）をご覧ください。

無線設定：

選択すると次のような画面が表示されます。

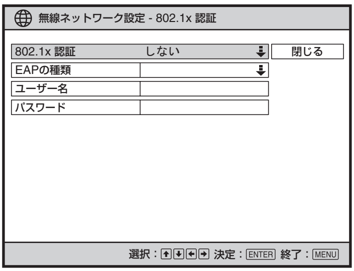


802.1x 認証：

「802.1x 認証」は次のように設定されているときのみ選択することができます。

・「接続方法」が「インフラストラクチャー」に設定され、さらに「データの暗号化」が「する（WEP)」に設定されているとき
・「ネットワーク認証」が「WPA」か「WPA2」に設定されているとき

上記の設定をしたあとに「802.1x 認証」を選択すると、次のような画面が表示されます。



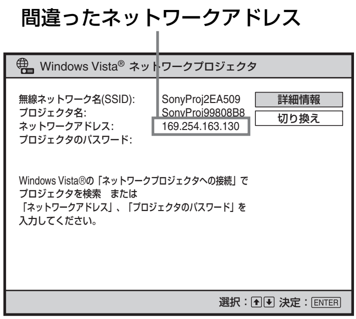
5 **すべての設定が終わったら「確定」を選択し、ENTER キーを押す。**

ネットワーク設定画面に戻り、設定した内容が表示されます。

6 **MENU キーを押して設定を終了する。**

ご注意

入力した IP アドレスが間違っていた場合、ネットワークアドレス（IP アドレス）が表示されていても接続されていません。



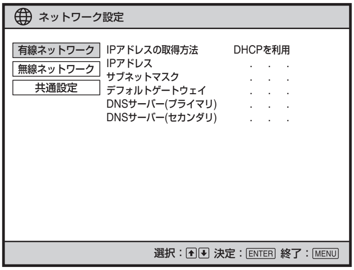
共通項目の設定

Windows Vista® ネットワークプロジェクタ機能で使用するプロジェクタ名と、パスワードのあり／なしを設定することができます。

1 **リモートコマンダーの MENU キーを押し、メニュー画面を表示させる。**

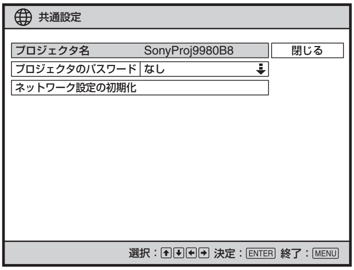
2 **▲/▼/◀/▶ キーでネットワーク設定メニューの「ネットワーク設定へ」項目を選択し、ENTER キーを押す。**

ネットワーク設定画面が表示されます。



3 **▲/▼ キーで「共通設定」を選択し、ENTER キーを押す。**

共通設定画面が表示されます。



4 **▲/▼/◀/▶キーとENTERキーで必要な項目を入力する。**

文字や数値などの入力のときはソフトウェアキーボードが表示されます。

◆ソフトウェアキーボードの使いかたは「ソフトウェアキーボードを使う」(27 ページ) をご覧ください。

5 **すべての設定が終わったら「閉じる」を選択し、ENTER キーを押す。**

ネットワーク設定画面に戻り、設定した内容が表示されます。

6 **MENU キーを押して設定を終了する。**

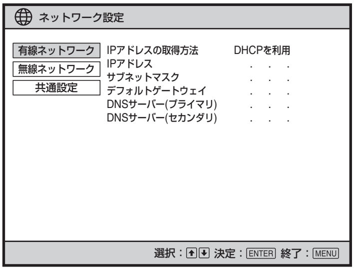
ネットワーク設定を初期化する

すべての設定項目を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 **リモートコマンダーの MENU キーを押し、メニュー画面を表示させる。**

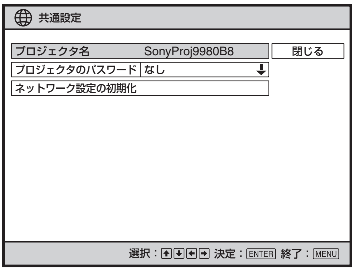
2 **▲/▼/◀/▶ キーでネットワーク設定メニューの「ネットワーク設定へ」項目を選択し、ENTER キーを押す。**

ネットワーク設定画面が表示されます。



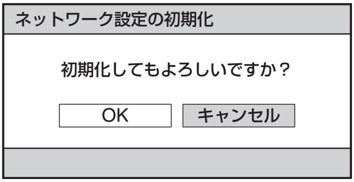
3 **▲/▼ キーで「共通設定」を選択し、ENTER キーを押す。**

共通設定画面が表示されます。



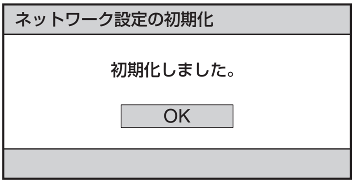
4 ▲/▼ キーで「ネットワーク設定の初期化」を選択し、ENTER キーを押す。

ネットワーク設定の初期化画面が表示されます。



5 初期化する場合は ◀/▶ キーで「OK」を選択し、ENTER キーを押す。

確認の画面が表示されます。



6 ENTER キーを押す。

ネットワーク設定のすべてが初期化され、共通設定画面に戻ります。

7 「閉じる」を選択し、ENTER キーを押す。

ネットワーク設定画面に戻ります。

8 MENU キーを押して設定を終了する。

USB ファイルビューアー機能を利用するために

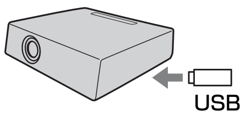
USB ファイルビューアー機能を利用するために、次のような準備をしてください。

はじめに

USB ファイルビューアー機能を利用するための注意事項がありますので、事前に「使用上のご注意」―「USB ファイルビューアー機能を使う場合」（9 ページ）をご覧ください。

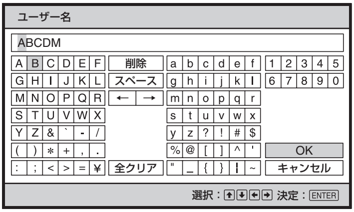
USB メモリーを接続する

プロジェクターの ⭠ (USB) 端子に USB メモリー（別売）を接続します。



ソフトウェアキーボードを使う

接続の設定や、各種操作の場面でソフトウェアキーボード画面から数値や文字を入力する場合があります。
▲/▼/◀/▶キーとENTERキーで入力してください。



入力が終わったら

「OK」を選択してENTERキーを押すと、ソフトウェアキーボードが表示される前の操作画面に戻ります。

入力を途中でやめる場合は

「キャンセル」を選択してENTERキーを押すと、ソフトウェアキーボードが表示される前の操作画面に戻ります。

ネットワーク経由でプレゼンテーションを行う（Windows Vista® ネットワークプロジェクタ）

はじめに

・プロジェクターとコンピューターをネットワークで接続してください。詳しくは、「ネットワーク機能を利用するために」（13 ページ）をご覧ください。

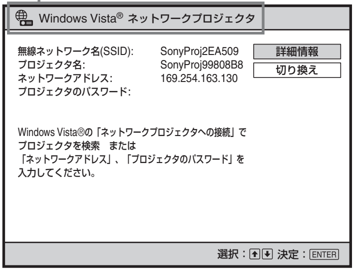
・Windows Vista® ネットワークプロジェクタ機能を利用するための注意事項がありますので、事前に「使用上のご注意」—「Windows Vista® ネットワークプロジェクタ機能を使う場合」（7 ページ）をご覧ください。

プロジェクター側の設定

1 リモートコマンダーの NETWORK キーを押す。

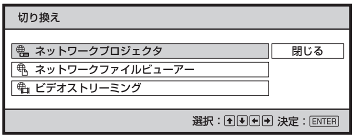
入力がネットワークに設定されます。
操作画面の左上に Windows Vista® ネットワークプロジェクタが表示されていることを確認してください。

Windows Vista® ネットワークプロジェクタ表示



画面の左上に「Windows Vista® ネットワークプロジェクタ」が表示されていない場合は

▲/▼ キーで「切り換え」を選択し、ENTER キーを押します。切り換え画面が表示されますので、▲/▼ キーで「ネットワークプロジェクタ」を選択し、ENTER キーを押してください。



コンピューター側の設定

1 コンピューターの「スタート」をクリックし、「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「ネットワークプロジェクタへの接続」をクリックする。

ネットワークプロジェクタへの接続画面が表示されます。

2 画面の指示に従い、プロジェクターを検索して接続する。

使用可能なプロジェクターの一覧が表示されます。「プロジェクター側

の設定」の手順 1 の画面に表示されている「プロジェクタ名」のプロジェクターを選択してください。
使用可能なプロジェクターが検索できなかった場合は、プロジェクターのネットワークアドレス（IP アドレス）を入力してください。

3 プロジェクター側で「プロジェクタのパスワード」を「あり」に設定している場合は、パスワードを入力する。

パスワードは「プロジェクター側の設定」の手順 1 の画面に表示されている「プロジェクタのパスワード」を入力してください。

4 「接続」を選んでクリックする。

プロジェクターからコンピューターの画面と同じものが投影されます。

接続を終了する

コンピューター画面上のネットワークプロジェクタのダイアログボックスで「切断」を選ぶか、リモートコマンダーの ENTER キーを押してください。

◆コンピューター側の設定について、詳しくは ヘルプや Microsoft のウェブサイトをご覧ください。

ネットワーク上にあるコンピューターのファイルを直接投影する(ネットワークファイルビューアー)

はじめに

・プロジェクターとコンピューターをネットワークで接続してください。詳しくは、「ネットワーク機能を利用するために」（13 ページ）をご覧ください。
・ネットワークファイルビューアー機能を利用するための注意事項がありますので、事前に「使用上のご注意」―「ネットワークファイルビューアー機能を使う場合」（8 ページ）をご覧ください。

コンピューター側の設定

プロジェクター側からアクセスするフォルダーに対して、あらかじめ共有の設定を行ってください。
コンピューター側で、エクスプローラーを起動し、フォルダのプロパティで共有の設定を行うことができます。

ご注意

・フォルダー名（共有名）には必ず「半角英数字」をご使用ください。それ以外の文字を使用すると、プロジェクター側でフォルダー名（共有名）を入力することができません。
・ネットワークファイルビューアーでア

クセス中のフォルダーは削除したり移動したりしないでください。

◆コンピューター側の設定について、詳しくは ヘルプや Microsoft のウェブサイトをご覧ください。

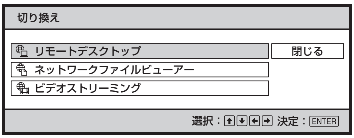
プロジェクター側の設定

1 リモートコマンダーの NETWORK キーを押す。

入力がネットワークに設定されます。

2 リモートコマンダーの▲/▼キーで「切り換え」を選択し、ENTER キーを押す。

切り換え画面が表示されます。

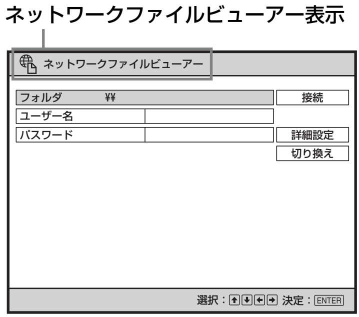


ご注意

すでに「ネットワークファイルビューアー」が選択されている場合は、切り換え画面に「ネットワークファイルビューアー」は表示されません。この場合は、手順 4 へ進んでください。

3 ▲/▼ キーで「ネットワークファイルビューアー」を選択し、ENTER キーを押す。

ネットワークファイルビューアー画面が表示されます。



4 アクセスする「フォルダ」名とコンピューターの「ユーザー名」、「パスワード」を入力する。

入力する項目を選んで ENTER キーを押すと、ソフトウェアキーボードが表示されます。

フォルダ名は「¥¥コンピューター名¥共有名」を入力してください。

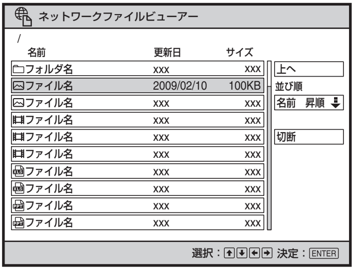
コンピューター名：コンピューターの「システムのプロパティ」の「コンピュータ名」タブで確認してください。

共有名：フォルダーのプロパティの「共有」タブで確認してください。

◆ソフトウェアキーボードの使いかたは「ソフトウェアキーボードを使う」(27 ページ）をご覧ください。

5 「接続」を選択し、ENTER キーを押す。

フォルダーの内容が表示されます。



6 ▲/▼ キーで再生したいファイルを選択し、ENTER キーを押して決定する。

選択したファイルに対応したビューアーが起動し、ファイルの内容がプロジェクターの投影画面に表示されます。

7 起動したビューアーに合わせて操作する。

◆「ファイルビューアーの使いかた」(44 ページ）をご覧ください。

ビューアーを終了する

リモートコマンダーの ENTER キーを押してください。

プロジェクターからコンピューターを操作する(リモートデスクトップ)

はじめに

・プロジェクターとコンピューターをネットワークで接続してください。詳しくは、「ネットワーク機能を利用するために」（13 ページ）をご覧ください。

・リモートデスクトップ機能を使うには、USB マウス（別売）、USB キーボード（英字配列 101/102、別売）、USB ハブ（別売）が必要です。事前にご用意ください。

・リモートデスクトップ機能を利用するための注意事項がありますので、事前に「使用上のご注意」―「リモートデスクトップ機能を使う場合」(8 ページ）をご覧ください。

コンピューター側の設定

プロジェクターの操作を始める前に、接続するコンピューターのリモートアクセス設定を変更する必要があります。「スタート」メニューから、「コントロールパネル」－「システム」－「システムのプロパティ」－「リモート」タブを選択し、リモートデスクトップの設定を行ってください。

◆コンピューター側の設定について、詳しくは ヘルプや Microsoft のウェブサイトをご覧ください。

プロジェクター側の設定

1 リモートコマンダーの NETWORK キーを押す。

入力がネットワークに設定されます。

2 ▲/▼ キーで「切り換え」を選択し、ENTER キーを押す。

切り換え画面が表示されます。

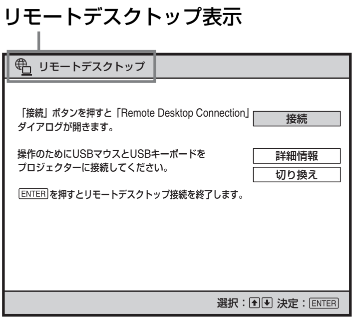


ご注意

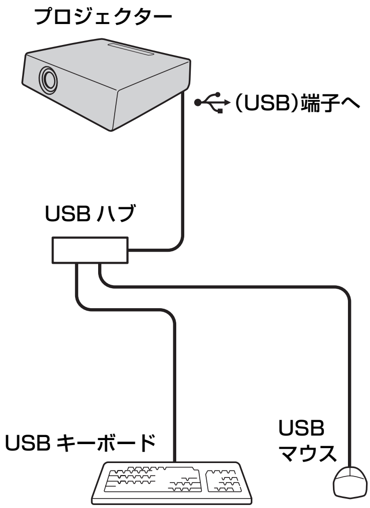
すでに「リモートデスクトップ」が選択されている場合は、切り換え画面に「リモートデスクトップ」は表示されません。この場合は、手順 4 へ進んでください。

3 ▲/▼ キーで「リモートデスクトップ」を選択し、ENTER キーを押す。

リモートデスクトップ画面が表示されます。



4 プロジェクターの ⭠ (USB) 端子に、USB ハブを接続し、USB ハブに USB マウスと USB キーボード（英字配列 101/102）を接続する。



5 「接続」を選択し、ENTER キーを押す。

Remote Desktop Connection 画面が表示されます。

6 プロジェクターに接続した USB キーボード（英字配列 101/102）でリモートアクセスしようとしているコンピューターのコンピューター名を入力し、接続した USB マウスで「接続」をクリックする。

Windows へログオン画面が表示されます。画面の指示に従って入力操作をしてください。

コンピューター名はコンピューターの「システムのプロパティ」の「コンピューター名」タブでご確認ください。

接続を開始し、接続が完了すると接続しているコンピューターの画面が投影されます。

7 投影されたコンピューターの画面を見ながら、接続している USB キーボード（英字配列 101/102）と USB マウスでコンピューターを操作する。

接続を終了する

コンピューターをログオフするか、リモートコマンダーの ENTER キーを押してください。

◆コンピューター側の設定について、詳しくはヘルプや Microsoft のウェブサイトをご覧ください。

ネットワーク経由で動画ファイルをストリーミング投影する（ビデオストリーミング）

はじめに

・プロジェクターとコンピューターをネットワークで接続してください。
詳しくは、「ネットワーク機能を利用するために」（13 ページ）をご覧ください。
・ビデオストリーミング機能を利用するための注意事項がありますので、事前に「使用上のご注意」―「ビデオストリーミング機能を使う場合」（9 ページ）をご覧ください。

コンピューター側の設定

・コンピューターにあらかじめ、Windows Media エンコーダをインストールしておいてください。
Windows Media エンコーダは Microsoft 社のホームページより無料でダウンロードすることができます。
・プロジェクター側の設定を始める前に、コンピューター側のビデオストリーミングを開始しておいてください。

◆Windows Media エンコーダの設定・操作については、ヘルプや Microsoft のウェブサイトをご覧ください。

プロジェクター側の設定

1 リモートコマンダーのNETWORKキーを押す。

入力がネットワークに設定されます。

2 ▲/▼キーで「切り換え」を選択し、ENTERキーを押す。

切り換え画面が表示されます。



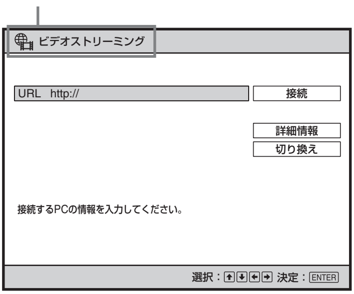
ご注意

すでに「ビデオストリーミング」が選択されている場合は、切り換え画面に「ビデオストリーミング」は表示されません。この場合は、手順4へ進んでください。

3 ▲/▼キーで「ビデオストリーミング」を選択し、ENTERキーを押す。

ビデオストリーミング画面が表示されます。

ビデオストリーミング表示



4 「URL」を選択してENTERキーを押し、表示されたソフトウェアキーボードでURLを入力する。

URLは「http://コンピューター名：ポート番号/」を入力します。

コンピューター名：コンピューターの「システムのプロパティ」の「コンピューター名」タブでご確認ください。

ポート番号：Windows Mediaエンコーダが使用しているポート番号を入力します。（初期状態は「8080」です。）

5 ▶キーで「接続」を選択し、ENTERキーを押す。

URLで指定した動画が配信され、プロジェクターから投影されます。

ストリーミングを終了する

リモートコマンダーのENTERキーを押してください。

ウェブブラウザを利用してプロジェクターを監視・操作する

はじめに

・プロジェクターとコンピューターをネットワークで接続してください。詳しくは、「ネットワーク機能を利用するために」（13 ページ）をご覧ください。

・ウェブブラウザを利用したプロジェクターの監視・操作機能を利用するための注意事項がありますので、事前に「使用上のご注意」―「ウェブブラウザを利用したプロジェクターの監視・操作機能を使う場合」（9 ページ）をご覧ください。

コンピューターからアクセスする

1 コンピューターのブラウザ（Internet Explorer 5.0 以上）を起動する。

2 アドレスに「http://xxx.xxx.xxx.xxx（プロジェクターの IP アドレス）」を入力する。

ご注意

コンピューターからプロジェクターにアクセスする際、ブラウザの設定が「プロキシサーバーを使用する」になっている場合は、チェックマークをクリックし、プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。

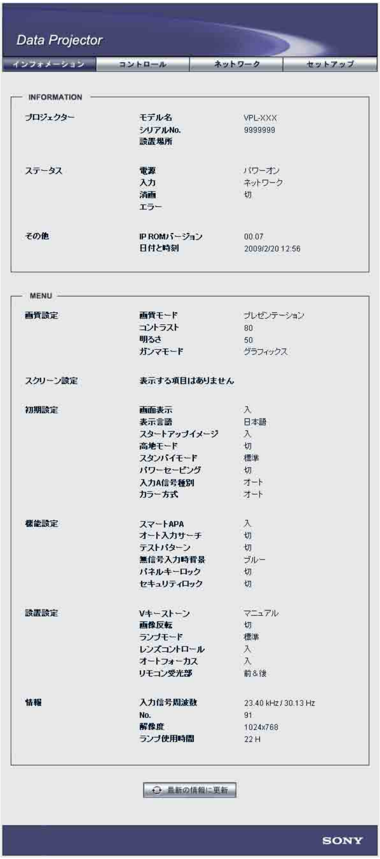
アクセスすると次のようなインデックス画面が立ち上がります。



プロジェクターの状態を確認する（インフォメーション）

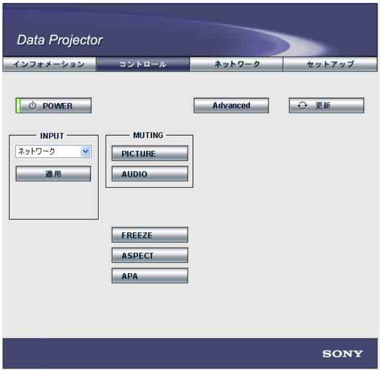
「インフォメーション」をクリックします。

プロジェクターの現在の状態をコンピューター上で確認できます。この画面は確認のみで、設定の変更はできません。

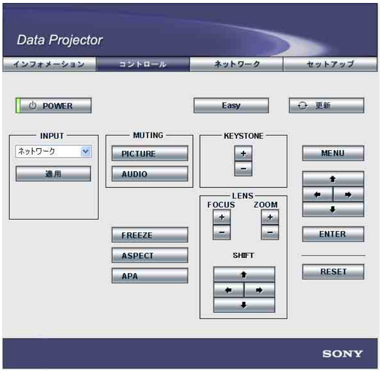


プロジェクターを操作する（コントロール）

「コントロール」をクリックします。
コンピューターの画面上でプロジェクターを操作できます。各ボタンの働きは、本機に付属のリモートコマンダーの同名のボタンと同じになります。
コントロールの画面には頻繁に使うボタンだけを表示した「イージーモード」画面と、すべてのボタンを表示した「アドバンスモード」画面があります。



画面上の「Advanced」をクリックすると「アドバンスモード」画面が表示されます。



画面上の「Easy」をクリックすると「イージーモード」画面に戻ります。

ネットワーク情報を設定する

「ネットワーク」をクリックします。



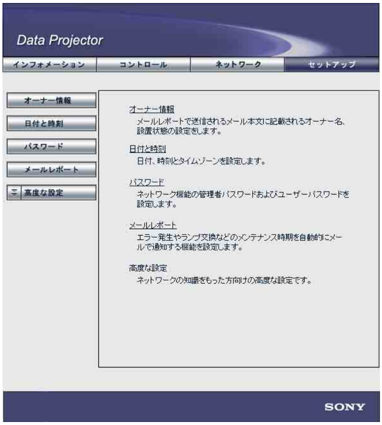
無線ネットワーク、有線ネットワーク（VPL-DX15のみ）の設定を変更できます。この画面で変更した設定内容は、画面下方の「適用」をクリックすると反映されます。

ご注意

ネットワーク設定を変更すると接続が切断されてしまう場合があります。

プロジェクターを設定する（セットアップ）

「セットアップ」をクリックします。
セットアップメニュー画面が表示されます。
所有者情報や日時、パスワード、メールレポートの設定ができます。各項目をクリックするときには、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。はじめてお使いになるときは、ユーザー名のテキストボックスに「root」、パスワードのテキストボックスには何も入力しないで「OK」をクリックしてください。
パスワードを設定したいときは、「パスワード」の設定画面で設定を行ってください（39 ページ）。
各画面で入力した情報、変更した設定などは、各画面下方の「適用」をクリックするとプロジェクターに反映されます。



オーナー情報

ここで設定された情報はメールレポート機能で使用されます。



所有者

所有者の情報を入力します。

プロジェクター

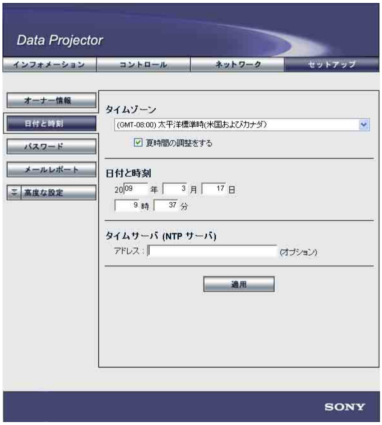
プロジェクターの設置場所を入力します。

メモ

メモを入力しておくことができます。

日付と時刻

日時の設定は、メールの自動送信の際に必要です。



タイムゾーン

お住まいの地域を選びます。

日付と時刻

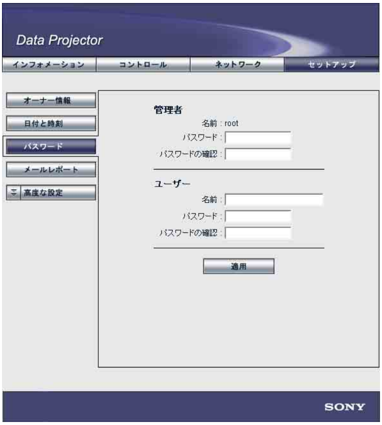
年月日および時刻を入力します。

タイムサーバー

正確な時刻情報を自動取得するためのタイムサーバーのアドレスを入力します。

パスワード

管理者、ユーザーそれぞれに名前とパスワードを設定できます。管理者の名前は「root」に固定されています。



ご注意

・パスワードを変更する場合は、設定されているパスワード（*****）を削除してから、新しいパスワードを入力してください。

・パスワードを忘れた時は、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。

メールレポート

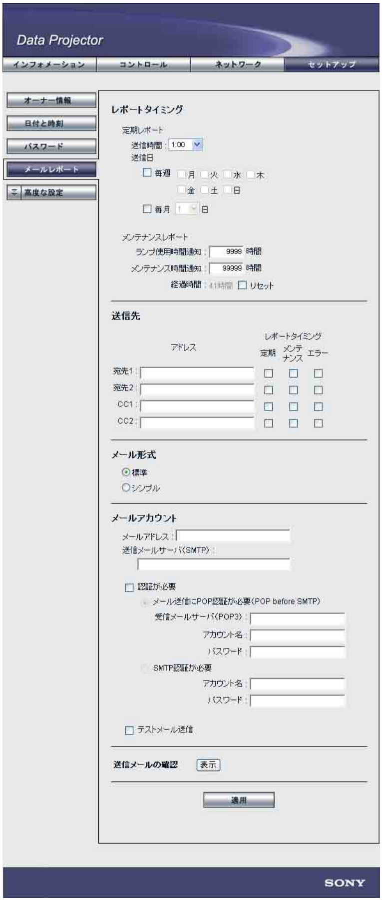
メールレポート機能を使って、次のことができます。

・プロジェクターの設置状況やオーナー情報を定期的に通知します。送信日も指定できます（定期レポート）。

・プロジェクターにエラーが発生した場合、直ちにメールで通知します（エラー通知）。

・ランプの使用時間があらかじめ指定しておいた時間に到達した場合、ランプの交換時期がきたことをメールで通知します（ランプ使用時間通知）。

・プロジェクターの使用時間があらかじめ指定しておいた時間に到達した場合、メンテナンス時期がきたことをメールで通知します（メンテナンス時間通知）。



■ レポートタイミング

定期レポート

プロジェクターの現在の状態や設置状態などのレポートが定期的に発行され、メールで送信されます。
下記で送信するタイミングを設定します。

送信時間：レポートを発行する時間を指定します。１時間単位で設定できます。

毎週：このチェックボックスをチェックすると、毎週、指定した曜日にレポートが発行されます。

月／火／水／木／金／土／日：レポートを発行する曜日を指定します。複数の曜日を指定することもできます。

毎月：このチェックボックスをチェックし、ドロップダウンリストから日を選ぶと、毎月決まった日にレポートが発行されます。レポートする内容は、製品情報、オーナー情報、使用時間、ランプモード、メモなどです。

メンテナンスレポート

ランプ使用時間通知：このチェックボックスをチェックし、テキストボックスにランプ交換時期の時間を設定しておくと、この時間が経過したとき、ランプ交換時期がきたことを知らせるメールを送信します。設定できる範囲は 1 〜 9999 時間です。

メンテナンス時間通知：このチェックボックスをチェックし、テキストボックスにメンテナンスの時間を設定しておくと、この時間が経過したとき、メンテナンスの時期がきたことを知らせるメールを送信します。設定できる範囲は 1 〜 99999 時間です。
「経過時間」に前回リセットしたときからの経過時間が表示されます。
「リセット」のチェックボックスをチェックし、「適用」をクリックすると、経過時間が 0 にリセットされます。

■ 送信先

アドレス

各テキストボックスに送信先のメールアドレスを入力します。同時に 4 箇所に送信できます。各アドレスの最大入力文字数は 64 文字です。

レポートタイミング

定期：定期レポートを送信したいときにチェックします。

メンテナンス：メンテナンスレポートを送信したいときにチェックします。

エラー：エラーが発生したときに通知したいときはチェックします。

ご注意

- レポートタイミングで、送信日を指定しても「定期」のチェックボックスがチェックされていないとレポートは発行されません。また、「毎月」の指定日が存在しない月の場合は、月末にレポートを発行します。
- レポートタイミングで、「毎週」または「毎月」のチェックボックスがチェックされていない場合、曜日または日の指定はできません。

■ **メール形式**
メール形式を「標準」と「シンプル」から選びます。

■ **メールアカウント**

メールアドレス：割り当てられたメールアドレスを入力します。最大入力文字数は 64 文字です。
送信メールサーバー（SMTP）：メールサーバーのアドレスを設定します。最大入力文字数は 64 文字です。
認証が必要：メール送信に認証が必要な場合は、チェックボックスをチェックしてください。
メール送信に POP 認証が必要（POP before SMTP）：SMTP サーバーに接続する前に POP 認証を行う必要がある場合、チェックボックスをチェックしてください。
受信メールサーバー（POP3）：メール受信に使用する POP3 サーバーのアドレスを入力します。
アカウント名：メールアカウントを入力します。
パスワード：メールパスワードを入力します。
SMTP 認証が必要：メール送信時に SMTP 認証が必要な場合には、チェックボックスをチェックしてください。
アカウント名：メールアカウントを入力します。
パスワード：メールパスワードを入力します。
テストメール送信：指定したアドレスにメールが送信されるかどうか、テストメールを送信することができます。チェックボックスをチェックして「適用」をクリックすると送信されます。

ご注意
・テストメールは、以下の項目が設定されていない場合、または設定が正しくないと、エラーメッセージが表示され、送信できません。
　– 送信先のアドレス
　– メールアカウントのメールアドレスと送信メールサーバー（SMTP）
　メールの設定方法について詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
・Outbound Port25 Blocking を行っているネットワークでは SMTP サーバーには接続できないためメールレポート機能を使用することはできません。

■ **送信メールの確認**
送信されるメールの内容を確認します。

高度な設定

「高度な設定」をクリックすると「Font」、「Advertisement」、「PJ Talk」、「SNMP」、「PJ Link」、「Service」のボタンが表示されます。各設定項目は主に管理用のものです。詳しくは、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。



ご注意

文字列が入力できるボックスに「'」「"」「¥」「&」「<」「>」の6文字は使用できません。

USB メモリー内のファイルを直接投影する(USB ファイルビューアー)

はじめに

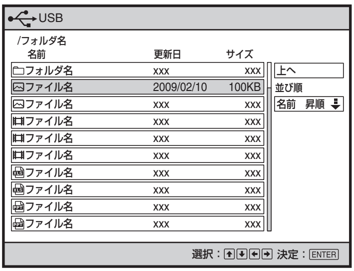
USB ファイルビューアー機能を利用するための注意事項がありますので、事前に「使用上のご注意」—「USB ファイルビューアー機能を使う場合」(9 ページ)をご覧ください。

1 リモートコマンダーの USB キーを押す。

入力が USB に設定されます。

2 USB メモリーを、プロジェクターの (USB) 端子に挿入する。

USB メモリー内の内容が表示されます。



3 ▲/▼ キーで再生したいファイルを選択する。

4 ENTER キーを押して決定する。

選択したファイルに対応したビューアーが起動し、ファイルの内容がプロジェクターの投影画面に表示されます。

5 起動したビューアーに合わせて操作する。

「ファイルビューアーの使いかた」(44 ページ)をご覧ください。

Microsoft Office ファイルを閲覧する

選択したファイルに対応したビューアーが自動的に起動します。それぞれのビューアーはリモートコマンダーで簡単に操作ができます。

ご注意

- 閲覧できるファイルには制限があります。事前に「閲覧できるファイルの種類」（10 ページ）をご覧ください。
- ビューアーが起動しても、投影画面の右下に操作ガイドのためのアイコンが表示されるまでは操作できません。
- ファイルビューアーでは倍率を変えて投影することができません。

Power Point ファイルを閲覧する

拡張子が「ppt」のファイルを選択すると、PowerPoint ファイルを閲覧するためのファイルビューアーが起動します。

スライドを前後に移動する：◀（▲）／▶（▼）キーを押す。
終了する：ENTER キーを押す。

Excel ファイルを閲覧する

拡張子が「xls」のファイルを選択すると、Excel ファイルを閲覧するためのファイルビューアーが起動します。

シート内を移動する：▲/▼/◀/▶ キーを押す。
シート内を高速で移動する（上下方向のみ）：▲/▼ キーを長押しする。
シートを切り換える：◀/▶ キーを長押しする。
終了する：ENTER キーを押す。

フォトファイルを閲覧する

ご注意

・閲覧できるファイルには制限があります。事前に「閲覧できるファイルの種類」（10 ページ）をご覧ください。
・ファイルビューアーでは倍率を変えて投影することができません。

拡張子が「jpg」「jpeg」のファイルを選択すると、フォトファイルを閲覧するためのファイルビューアーが起動します。

同一フォルダー内の別の静止画を表示する：◀（▲）/ ▶（▼）キーを押す。
操作パネルを表示する：ENTER キーを押す。

操作パネルを使う

リモートコマンダーの ENTER キーを押すと操作パネルが表示され、スライドショーモード（一定間隔で同一フォルダー内の静止画を順に表示していくモード）への切り換え、フォトファイルビューアーの終了を選択することができます。

ご注意

・投影する静止画の表示順序は指定できません。
・静止画は常にアスペクトを維持したまま、投影画面内におさまるように表示されます。

ビデオファイルを閲覧する

ご注意

・閲覧できるファイルには制限があります。事前に「閲覧できるファイルの種類」（10 ページ）をご覧ください。
・ファイルビューアーでは倍率を変えて投影することができません。

拡張子が「wmv」のファイルを選択すると、ビデオファイルを閲覧するためのファイルビューアーが起動します。動画は常にファイルに記録されているサイズで表示されます。

一時停止する：▼ キーを押す。
一時停止を解除する：一時停止時にもう一度 ▼ キーを押す。
終了する：ENTER キーを押す。

故障かな？と思ったら

Windows Vista® ネットワークプロジェクター機能について

症状	原因と対処
使っているコンピューターで「ネットワークプロジェクタへの接続」がみつからない。	・コンピューターの OS が「ネットワークプロジェクタへの接続」に対応していない。 ➔お使いの OS が「ネットワークプロジェクタへの接続」に対応しているか確認してください。（7 ページ）
プロジェクターが検索できない。	・プロジェクターの電源が入っていない。 ➔電源を入れてください。 ・コンピューターとプロジェクターがネットワーク接続されていない。 ➔コンピューターとプロジェクターをネットワーク接続してください。（13 ページ） ・ウイルス対策ソフトによって制限されている。 ➔Windows のサービスを許可するように設定を変更してください。 **ご注意** ウィルス対策ソフトの設定を変更するとウィルスの攻撃を受ける可能性がありますのでご注意ください。 ・プロジェクターの Windows Vista® ネットワークプロジェクタが起動していない。 ➔Windows Vista® ネットワークプロジェクタを起動してください。（28 ページ） ・プロジェクターとコンピューターが異なるサブネットに存在している。 ➔ネットワークアドレス（IP アドレス）で直接指定してください。
PowerPoint のアニメーション効果や動画ファイルなど動きのある画像が正しく表示されない。	➔本機能は、コンピューター上で再生するよりも、画面の更新間隔が長いため、動画ファイルなどの動きのある画像の再生には適していません。
途中で終了してしまった。	・コンピューターとプロジェクターの接続が切断された。 ➔ネットワークの状態を確認して、切断されていた場合は再度接続してください。

症状	原因と対処
プロジェクターに接続できない。	・他のコンピューターと接続している。 ➔接続中のコンピューターとの接続を切断してからもう一度接続してください。 ・コンピューターの解像度がプロジェクターの解像度より大きい。 ➔コンピューターの解像度をプロジェクターの解像度以下に変更してください。 ➔お使いのコンピューターの OS が Windows Vista Service Pack 1 以降の場合は、実行時にダイアログボックスが表示されるので、解像度をプロジェクターの解像度以下に変更してください。
画面の解像度が変わってしまう。	➔Windows Vista® ネットワークプロジェクタ機能の制限です。
壁紙が単色になる	➔Windows Vista® ネットワークプロジェクタ機能の制限です。
表示色が変更されてしまう。	➔Windows Vista® ネットワークプロジェクタ機能の制限です。

その他

ネットワークファイルビューアー機能について

症状	原因と対処
フォルダー名が入力できない。	➔フォルダー名（共有名）の入力は半角英数字のみ対応しています。半角英数字以外のフォルダー名（共有名）を設定している場合は変更してください。
ファイルリストが開けない。	・コンピューターの電源が入っていない。 ➔コンピューターの電源を入れてください。 ・コンピューターとプロジェクターがネットワーク接続されていない。 ➔コンピューターとプロジェクターをネットワーク接続してください。（13 ページ） ・アクセスしようとしているフォルダーにネットワーク共有の設定がされていない。 ➔ネットワーク共有の設定を行ってください。 ・コンピューターの OS がネットワーク共有機能に対応していない。 ➔お使いの OS がネットワーク共有機能に対応しているか確認してください。（8 ページ） ・フォルダー名が間違っている。 ➔フォルダー名の入力のしかたを確認し、入力しなおす。（12 ページ） ・パスワードが間違っている。 ➔正しいパスワードを入力してください。 ・Windows ドメイン機能を利用したネットワーク共有フォルダーにアクセスしようとしている。 ➔Windows ドメイン機能には対応していません。

リモートデスクトップ機能について

症状	原因と対処
コンピューターのデスクトップ画面が表示されない。	・コンピューターの電源が入っていない。 ➔コンピューターの電源を入れてください。 ・コンピューターとプロジェクターがネットワーク接続されていない。 ➔コンピューターとプロジェクターをネットワーク接続してください。（13 ページ） ・アクセスしようとしているコンピューターのリモートアクセスが許可されていない。 ➔リモートアクセス設定を行ってください。（31 ページ） ・コンピューターの OS がリモートデスクトップ機能に対応していない。 ➔お使いの OS がリモートデスクトップ機能に対応しているか確認してください。（8 ページ） ・コンピューター名が間違っている。 ➔正しいコンピューター名を入力してください。 ・ログインできない。 ➔正しいユーザー名、パスワードを入力してください。
コンピューター名が入力できない。	・USB マウス、USB キーボード（英字配列 101/102）を使って入力していない。 ➔USB マウスと USB キーボード（英字配列 101/102）を接続して入力してください。
途中で終了してしまった。	・コンピューターとプロジェクターの接続が切断された。 ➔ネットワークの状態を確認して、切断されていた場合は再度接続してください。
PowerPoint のアニメーション効果や動画ファイルなど動きのある画像が正しく表示されない。	➔本機能は、コンピューター上で再生するよりも画面の更新間隔が長いため、動画ファイルなどの動きのある画像の再生には適していません。
プロジェクターに表示されるマウスの形状がコンピューターと違っている。	➔プロジェクターに表示される形状はプロジェクター固有のものとなります。
壁紙が単色になる。	➔リモートデスクトップ機能の制限です。
音が出ない	➔リモートデスクトップ機能では、コンピューター側の音声はプロジェクターで再生されません。

ビデオストリーミング機能について

症状	原因と対処
画像がでない。	・コンピューターとプロジェクターがネットワーク接続されていない。 ➔コンピューターとプロジェクターをネットワーク接続してください。（13 ページ） ・コンピューターのストリーミングが開始されていない、もしくは終了している。 ➔Windows Media エンコーダのヘルプ、ウェブサイトなどを参照し、Windows Media エンコーダでストリーミングを開始してください。 ・入力した URL が間違っている。 ➔正しい URL を確認して入力しなおしてください。(34 ページ) ➔ネットワーク環境によっては再生できない場合があります。
画像がカクカクする、ノイズがのる。	・ネットワーク帯域が小さい。 ➔ネットワーク管理者に相談してください。 ・コンピューター側の設定が正しくない。 ➔Windows Media エンコーダのヘルプ、ウェブサイトなどを参照し、Windows Media エンコーダの設定を確認してください。 ・コンピューターの性能が低い。 ➔Windows Media エンコーダの推奨スペックになっているか確認してください。
途中で終了してしまった。	・コンピューターとプロジェクターの接続が切断された。 ➔ネットワークの状態を確認して、切断されていた場合は再度接続してください。
フルスクリーン表示ができない。	➔本機能はビデオソースの解像度のまま表示されます。

ウェブ監視、操作機能について

症状	原因と対処
プロジェクターのウェブページにアクセスできない。	・コンピューターとプロジェクターがネットワーク接続されていない。 ➔コンピューターとプロジェクターをネットワーク接続してください。(13 ページ) ・ブラウザの設定が「プロキシサーバーを使用する」になっている。 ➔プロジェクターの IP アドレスを「プロキシサーバーを使用しない」に設定してください。 ・使用しているブラウザのバージョンが古い、または Internet Explorer 以外のブラウザを使用している。 ➔Internet Explorer 5.0 以上のブラウザを使用してください。

USB ファイルビューアー機能について

症状	原因と対処
ファイルリストが開けない。	・USB メモリーが正しく接続されていない。 ➔USB メモリーの接続を正しく接続してください。(26 ページ)

ネットワークファイルビューアー／ USB ファイルビューアー共通

症状	原因と対処
フォルダ名、ファイル名が正しく表示されない。	・サポートしていない言語やフォントが使用されている。 ➔フォルダー名、ファイル名をサポートしている言語やフォントに変更してください。(12 ページ)
ファイルが開けない。	・対応していないファイルを開こうとしている。 ➔閲覧できるファイルを確認してください。(10 ページ) ・ファイルにパスワードがかかっている。 ➔ファイルのパスワード機能には対応していません。コンピューター側でファイルのパスワードロックを解除してください。
PowerPoint、Excel ファイルのフォントが変わってしまう。	・本機で使用できるフォントに置き換えられている。 ➔使用できるフォントを確認してください。(11 ページ)
PowerPoint、Excel ファイルの文字が表示されない。	・本機で使用できない文字（言語）が使われている。 ➔使用できる文字（言語）を確認してください。(11 ページ)

症状	原因と対処
PowerPoint、Excelファイルの図形や効果、機能が正しく再現されない。	・本機で使用できない図形や効果、機能が使われている。 ➔ 本機は、PowerPoint、Excel ファイルのすべての図形や効果、機能に対応していません。再現されない図形や効果、機能を再現できるものに置き換えてください。
ビデオファイルやフォトファイルをフルスクリーンで表示できない。	➔ フルスクリーン表示には対応していません。

用語集

アドホック

IEEE802.11 規格に準拠した無線通信方式です。アクセスポイントを介さずに機器同士で 1 対 1 の無線通信が行えます。

インフラストラクチャー

IEEE802.11 規格に準拠した無線通信方式です。アクセスポイントと無線通信して、他の機器と通信が行えます。

オープンシステム

ネットワークに接続するために、認証システムを使わない方式です。この方式の場合、ネットワークに任意の機器を接続することができます。ただし接続できても暗号化がされている場合は通信することはできません。

かんたん設定

プロジェクターをネットワークに接続するための設定を、ウイザード形式の質問に答える形で 1 つ 1 つ進めることができる本機に搭載されている機能です。

キー

データを暗号化するための暗号化キーです。WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK の場合に入力が必要です。

固定 IP アドレス

DHCP によって割り当てられたアドレスでなく、ユーザーが直接入力した IP アドレスです。

サブネットマスク

IP アドレスからサブネットのアドレスを特定するためのビット列のことです。

デフォルトゲートウェイ

サブネットを越えて通信するためのサーバー（ルーター）のアドレスです。

ネットワーク認証

ネットワークに接続するための認証システムです。

ネットワークファイルビューアー

コンピューターにネットワーク経由で接続し、ネットワーク接続したコンピューターに保存されているデータファイルを変換せずに、そのままプロジェクターに投影する機能です。

ビデオストリーミング

Windows Media エンコーダからのストリーミング配信を受ける機能です。
Windows Media エンコーダで配信したストリーミングをリアルタイムでプロジェクターに投影することができます。

ネットワークファイル共有機能

コンピューターにネットワーク経由で接続し、コンピューター上のファイルを共有する機能です。

プロジェクタ名

Windows Vista® ネットワークプロジェクタ機能で接続するプロジェクターを識別するために使用する名前です。

無線ネットワーク

IEEE802.11 規格に準拠した無線通信です。

有線ネットワーク
IEEE802.3 規格に準拠したイーサネット通信です。

リモートデスクトップ
コンピューターにネットワーク経由で接続し、プロジェクターから接続先のコンピューターを操作する機能です。コンピューターのデスクトップ画面が投影され、プロジェクターの USB 端子にキーボードとマウスを接続して操作します。

802.1x 認証
認証と、動的な暗号キーの生成および配送を行う方式です。

802.11b
IEEE802.11 規格の 1 つの方式で 2.4GHz 帯の電波を使用した無線通信です。通信速度は最大で 11Mbps となります。

802.11g
IEEE802.11 規格の 1 つの方式で 2.4GHz 帯の電波を使用した無線通信です。通信速度は最大で 54Mbps となります。

802.11a
IEEE802.11 規格の 1 つの方式で 5GHz 帯の電波を使用した無線通信です。通信速度は最大で 54Mbps となります。

Advertisement
ネットワーク上で、自分の存在を知らせる方式です。

DHCP
ネットワークに接続する機器に自動的に IP アドレスを割り当てる機能です。個々の機器に固定の IP アドレスを割り当てるのではなく、DHCP サーバーが必要に応じて各機器に IP アドレスを割り当てます。

DNS サーバー（セカンダリ）
プライマリの DNS サーバが使用できないときに使われる代替の DNS サーバーのことです。

DNS サーバー（プライマリ）
IP アドレスとホスト名（コンピューター名）を結びつけるサーバーです。通常プライマリで指定したサーバーが使用されます。

EAP
IEEE802.1x の認証プロトコルとして採用されている方式です。

IP アドレス
TCP/IP を使ったネットワークで、ネットワークに接続している個々の機器を識別するために使用するアドレスです。

LAN
会社内や家庭内など、限られた範囲の中で使われるネットワークのことです。

MAC アドレス
ネットワーク対応機器の製造時に、ネットワークインターフェースごとに割り当てられる固有のアドレスです。同じ MAC アドレスを持つ機器は 2 台存在せず、またユーザーが MAC アドレスを変更することもできません。

NTP サーバー

ネットワークに接続している機器の時刻同期を NTP(Network Time Protocol)によって行うためのサーバーです。

PEAP（MS-CHAP v2）

資格情報に基づいた認証を行います。

PJ Link

データプロジェクタを操作・管理するために策定された規格です。

POP

インターネットで電子メールを送信する際に使用するプロトコルです。

SMTP

インターネットで電子メールサーバーから受信する際に使用するプロトコルです。

SNMP

ネットワークに接続された機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。

SSID

無線 LAN で構成されるネットワークで相手と接続するための識別データです。SSID が一致している機器どおしで無線通信ができます。

TKIP

WEP の後継にあたる暗号化の規格です。TKIP では一定のデータ量または時間ごとに暗号化キーを生成し、暗号化を行います。動的に暗号化キーを変化させるため、暗号化キーの解読がより困難となり、セキュリティが強化されます。

WEP

データを暗号化して通信するためのセキュリティ方法です。接続するコンピューターと同じキーを登録するとデータの通信を行うことができます。

Windows Media エンコーダ

マイクロソフトが提供しているエンコーダーソフトウエアです。

WMV（Windows Media Video）

マイクロソフトが開発した動画コーデックです。

WPA（Wi-Fi Protected Access）

無線 LAN 用のセキュリティ規格です。TKIP による強力な暗号化と IEEE802.1x による認証をサポートします。

WPA2

WPA の拡張されたものです。WPA2 にも認証サーバーを必要とする方式と、認証サーバーを必要としない方式があります。

WPA2-PSK

WPA2 にて認証サーバーを必要としない方式です。

WPA-PSK

WPA にて認証サーバーを利用しない方式です。PSK と呼ばれる共有キーによって無線 LAN 端末を認証します。接続するコンピューターと同じキーを登録するとデータの通信を行うことができます。

URL

インターネット上に存在する情報資源（文書や画像など）の場所を指し示す記

述方式で、インターネットにおける情報の「住所」にあたります。情報の種類やサーバー名、ポート番号、フォルダ名、ファイル名などで構成されます。

索引

五十音順

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

数字

アルファベット順

D

I

U

W

よくあるお問い合わせ、解決方法などは
ホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「2 0 3」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389　**受付時間** 月～金：9:00～20:00　土・日・祝日：9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/